

e-Stage KIT 取扱説明書 (カム付)

ノーマル50ccのシリンダーヘッドを使用したままで81ccにボアアップが出来、HEAVYなエンジンフィーリングが体験出来るキットをNEWリリース。プラモデル感覚でEASYに組み上げて、楽しみながらエンジン構造の勉強が出来るストリートユースキットに仕上げました。

- ・このたびは、弊社商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

EステージKITは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。KIT取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

商品番号	01-05-522
モンキー／ゴリラ	Z50J-2000001～ AB27-1000001～
モンキーBAJA	Z50J-1700001～
ダックス	AB26-1000001～
ジョルカブ	AF53-1000001～
JAZZ	AC09-1000030～
マグナ50	AC13-1000010～
CD50	CD50-1500001～
CL50	CD50-4000001～
リトルカブ	C50-4300001～ AA01-3000001～
カブ50(12V)	C50-0200001～ AA01-1000001～

▲ スパークプラグについてのご注意 ▲

スパークプラグは必ずCR8HSA(NGK)または、U24FSR-U(DENSO)に交換して下さい。尚、抵抗無しプラグの場合はC8HSA(NGK)または、U24FS-U(DENSO)に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

▲ スプロケットについてのご注意 ▲

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の摩耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

☆ ご使用前に必ずお読み下さい ☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
- ◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎取り付けの際には、上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ◎取り付けの際には、別紙記述の工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎この取扱説明書はモンキー／ゴリラの車両を主体としております。
- ◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリナーボックス及びエアクリナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起こり重大な事故につながる恐れがあります。
- ◎セルモーター始動による車両につきましても、バッテリーが満充電の場合でもセル始動が困難になる場合があります。
- ◎このキットのシリンダーはジョルカブのセルモーター周辺と干渉する恐れがあります。取り付けの際には確認し、干渉がある場合はシリンダーの修理加工を行なって下さい。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)
- ※シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
- ・ガasket、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承ください。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

Lesson

◇普通、ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まります。

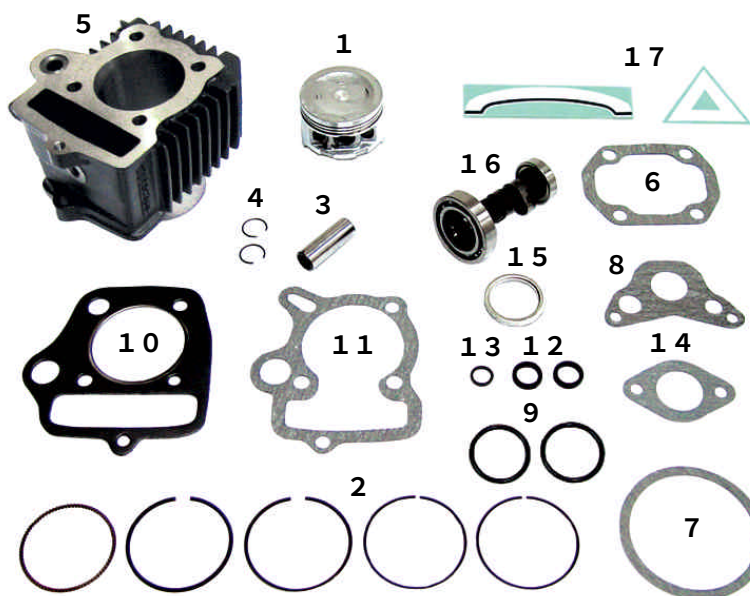
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まず指で締まるところまで締めましょう。1～2回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。

◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から反時計方向へ3～4回転回すことをいい、取り外すということは反時計方向へネジが取れるまで回すことをいいます。

◇ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにすることをいいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみてください。但し、当社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めるかと折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。

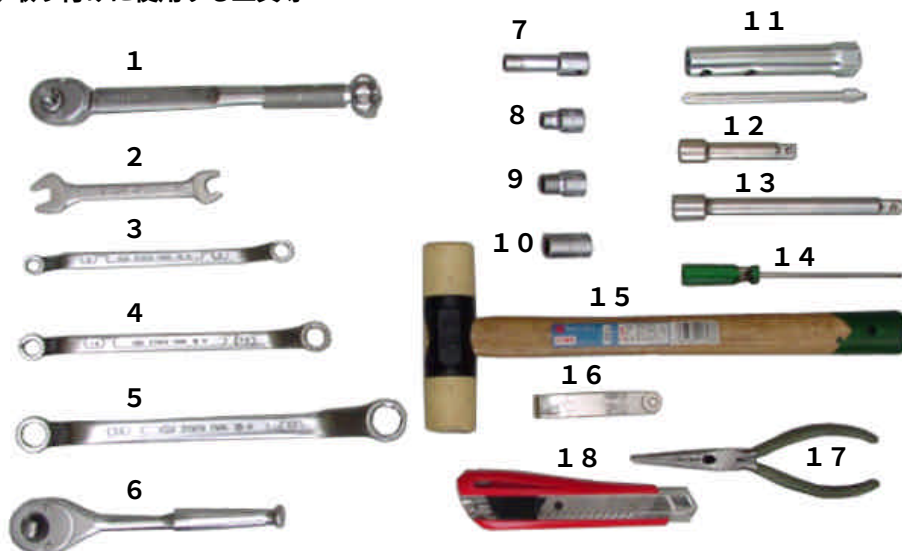
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

◇キット内容



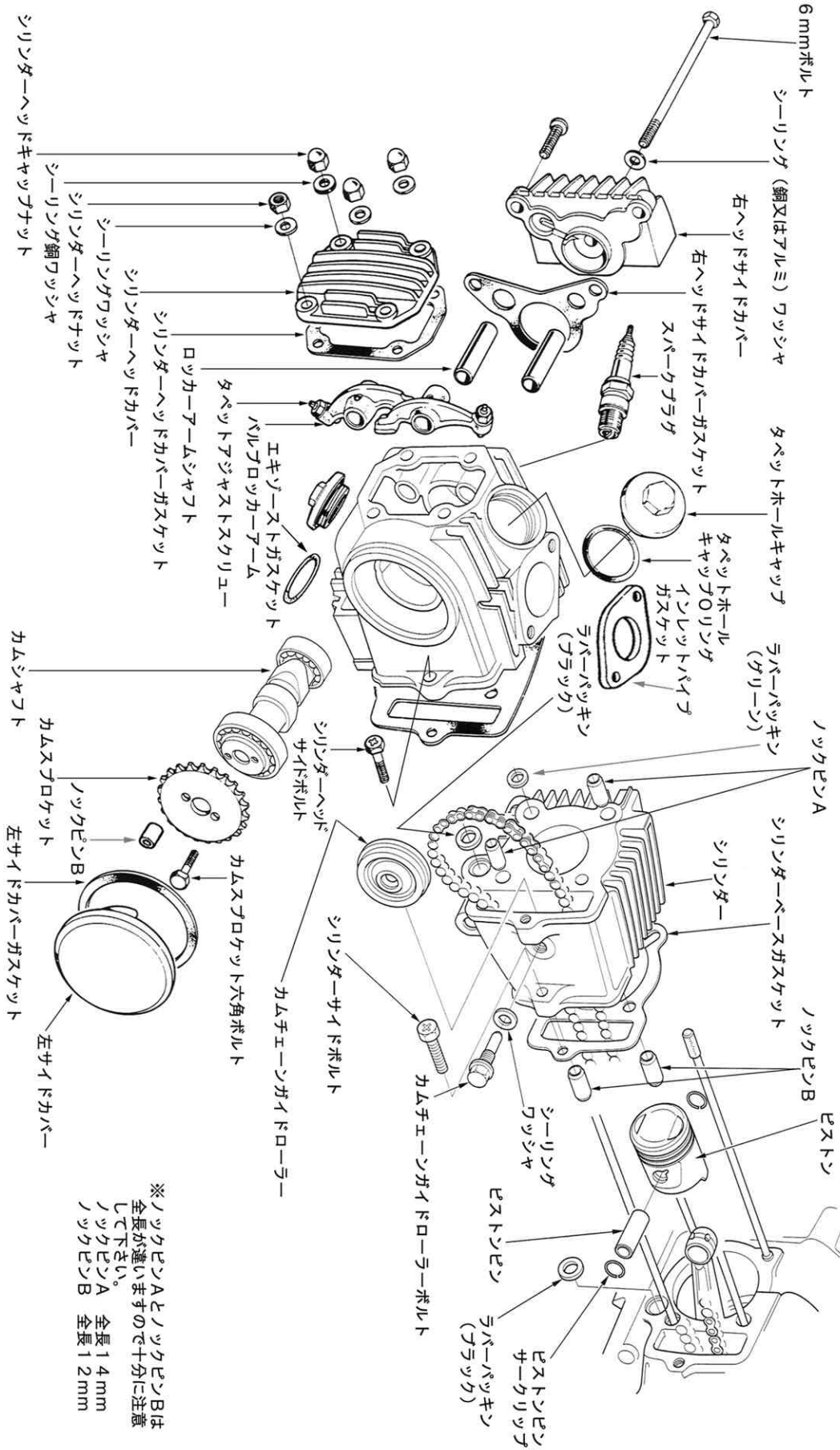
番号	商品内容	数量
1	ピストン	1
2	ピストンリングセット	1セット
3	ピストンピン	1
4	ピストンピンサークリップ	2
5	シリンダー	1
6	シリンダーヘッドカバーガスケット	1
7	シリンダーヘッドL. サイドカバーガスケット	1
8	シリンダーヘッドR. サイドカバーガスケット	1
9	タペットキャップOリング	2
10	シリンダーヘッドガスケット	1
11	シリンダーガスケット	1
12	ラバーパッキン (ブラック)	2
13	ラバーガスケット (グリーン)	1
14	インレットパイプガスケット	1
15	エキゾーストパイプガスケット	1
16	カムシャフト	1
17	原付2種マークセット	1セット

◇取り付けに使用する工具等



1	トルクレンチ
2	スパナレンチ 10-12mm
3	メガネレンチ 8-9mm
4	メガネレンチ 10-12mm
5	メガネレンチ 14-17mm
6	ラチェットレンチ
7	ディープソケット 8mm
8	ソケット 8mm
9	ソケット 10mm
10	ソケット 12mm
11	プラグソケット 16mm
12	エクステンションバー小
13	エクステンションバー中
14	細軸ドライバーマイナス
15	プラスチックハンマー
16	シックネスゲージ
17	ラジオペンチ
18	カッターナイフまたはスクレーパー
	ウエス
	エンジンオイル

ノーマル部品各部名称

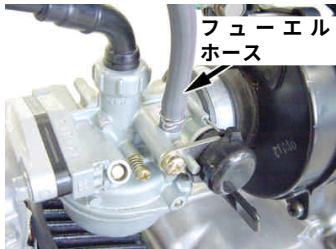


STD部品取り外し

1. キャブレターを取り外す



◇ガソリタンク左下部にあるガソリンコックをOFFにする。



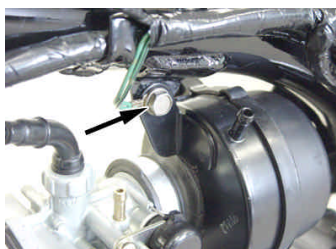
フューエル
ホース

大気ホース

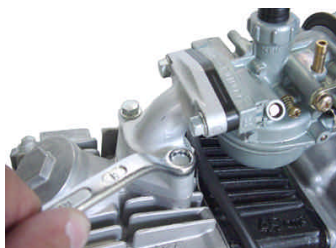
◇フューエルホースと大気ホースを取り外す。



◇ストレージタンクのホース（フレームNo. AB27の車両の場合）を抜き取る。



◇エアクリナーステー部のボルトを取り外す。
使用工具
ソケット10mm&エクステンションバー中



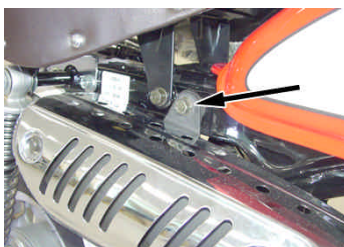
◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を取り外す。
使用工具
8mmメガネレンチ

◇スロットルケーブルを取り付けたままキャブレターASSYを左前方のウインカーに引っかけておく。

2. マフラーを取り外す



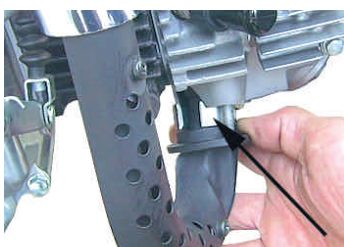
◇EXパイプ部のナット2個を取り外す。
使用工具
10mmスパナ



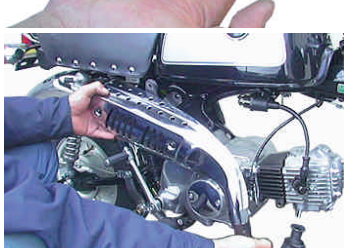
◇マフラー本体を止めている六角ボルトを取り外す。
使用工具
ソケット12mm&エクステンションバー中



◇マフラー本体裏側に止まっているナットを取り外す。
使用工具
ソケット10mm&エクステンションバー中



◇フランジのカラー2個を取り外し外側に引く様にしてマフラーを車体から取り外す。

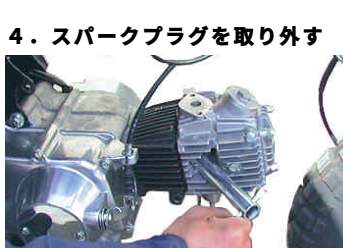


◇シフトペダルの六角ボルトを外しチェンジペダルを取り外す。
使用工具
10mmメガネレンチ

3. フロントフェンダーを取り外す

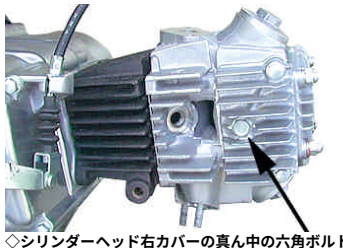


◇フロントフェンダー裏側の六角ボルト2本を取り外す。
使用工具
ソケット10mm&エクステンションバー小



◇プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外す。
◇車載工具のプラグレンチを使いプラグを取り外す。

5. シリンダーヘッド左カバーを取り外す



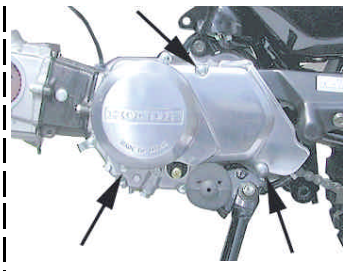
◇シリンダーヘッド右カバーの真ん中の六角ボルトを外すと左カバーが外れる。（ボルトを外しても外れない場合六角ボルトを2〜3山ねじ込み六角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる）
使用工具
ソケット10mm



6. クランクケース左カバーを取り外す



◇シフトペダルの六角ボルトを外しチェンジペダルを取り外す。
使用工具
10mmメガネレンチ



◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り外す。
使用工具
ディーブソケット8mm



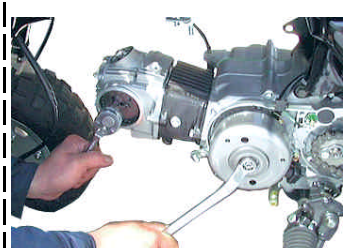
◇タペットキャップ2個を取り外す。
使用工具
17mmメガネレンチ



8. カムスプロケットを取り外す



◇フライホイールのTマークとカムスプロケットのOマークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。

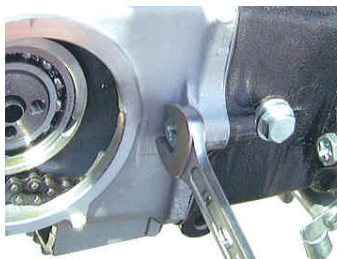


◇フライホイールを固定しカムスプロケット六角ボルト2個を取り外す。
使用工具
ソケット8mm
14mmメガネレンチ（フライホイール固定用）



- ◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。
- ◇カムプロケットをカムチェーンから取り外して、取り出す。
- ◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

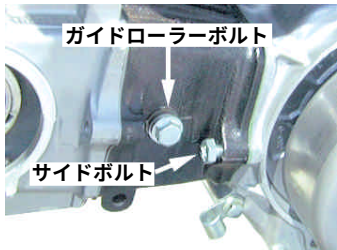
9. シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す



- ◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを取り外す。

使用工具

10mmスパナレンチ



ガイドローラーボルト

サイドボルト

- ◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトをゆるめる。

使用工具

10mmスパナレンチ

10mmメガネレンチ

10. シリンダーヘッドカバーを取り外す

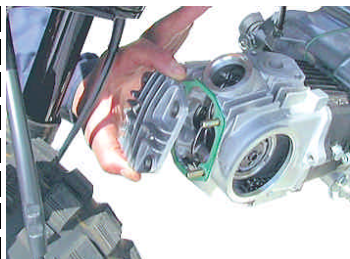


- ◇シリンダーヘッドカバーを止めているナット4個を対角の順番に数回に分けてゆるめて取り外す。

使用工具

ソケット10mm

- ◇ナット下にあるワッシャ4枚を取り外す。

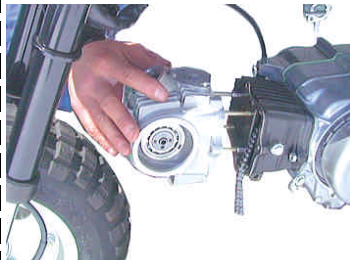


- ◇ヘッドカバーを取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)
- ◇シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーやカッター等できれいに取り除く。

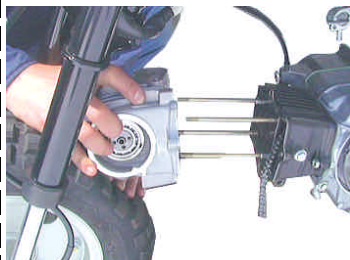
11. シリンダーヘッドを取り外す



- ◇フロントタイヤの空気を抜く。(ドライバーの先などでバルブを押すとエアが抜けるのでシューという音がなくなるまで押し続ける。)



- ◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)



- ◇フロントタイヤを押しながらシリンダーヘッドを取り外す。ここでタイヤの空気を抜いた訳をご理解いただいたと思います。

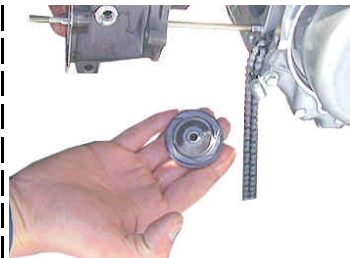
12. シリンダーを取り外す



- ◇ゆるめておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを取り外す。



- ◇シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す。)



- ◇シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくる。



- ◇ピストンが抜けたらタイヤを手で押さえながらシリンダーを前方へ取り外す。

13. ピストンを取り外す



- ◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。

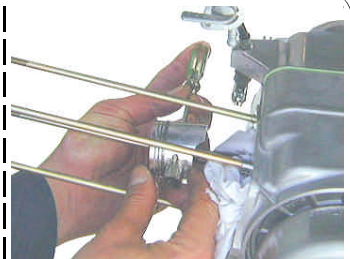


ピストンピンサークリップ

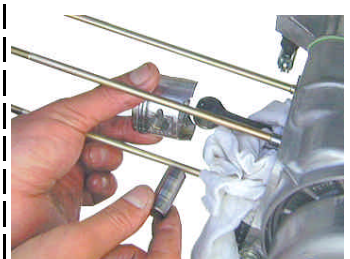
- ◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。
- ◇ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじると外れる。

使用工具

先の細いマイナスドライバー

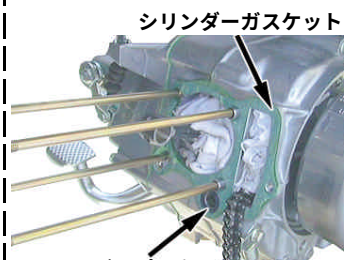


- ◇ピストンピンをサークリップが付いていない方向へ取り外す。サークリップが付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれる。



- ◇ピストンを取り外す。

14. 取り付け面をきれいにする



シリンダーガスケット

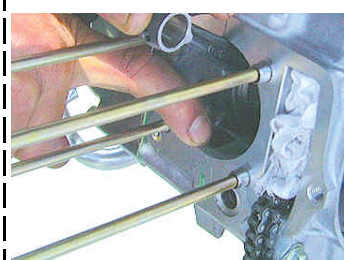
ラバーパッキン

- ◇シリンダーガスケットやラバーパッキンを取り除く。

- ◇ガスケットがきれいにはがれない場合は、スクレーパーやカッターナイフできれいに取り除く。

- ◇この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面やシリンダーホール部にはみ出ている場合は切り取っておく。

- ※クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。



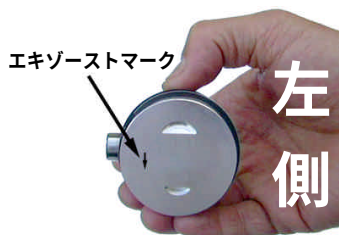
- ◇上写真の指さし部にはみ出ているガスケットがあれば切り取っておく。

e-StageKIT 取り付け

1. ピストンを組み付ける



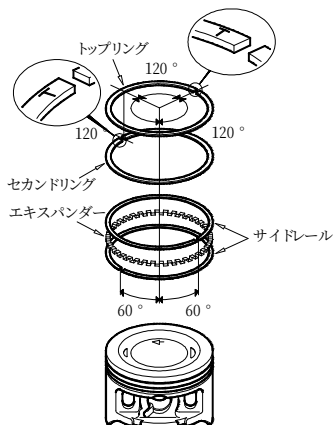
- ◇ピストンの左側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。
- ◇この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける。



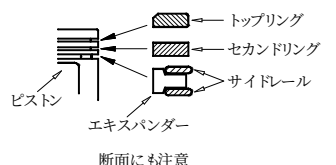
- ◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。
- 使用工具
先の細いマイナスドライバー

- ◇ピストンリングみそにエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

- ◇ピストンリングの合い口をそろえる



トップリングおよびセカンドリングは文字面を上にして取り付け。トップリングは茶色、セカンドリングは黒色になっているので注意すること。



- ◇オイルリングエキスパンダーを入れる。



- ◇下オイルリングサイドレールを入れる。



- ◇上オイルリングサイドレールを入れる。



- ◇文字面を上にしてセカンドリング(黒色)を入れる。



- ◇文字面を上にしてトップリング(茶色)を入れる。



- ◇ピストンピン部とコンロッドにエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。

エキゾーストマーク

- ◇ピストンヘッド部矢印マークの先を下(エキゾースト側)になるようにしてピストンを取り付ける。



- ◇ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。



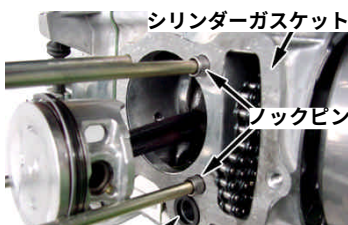
- ◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。

- ◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。
- ※押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行うこと。

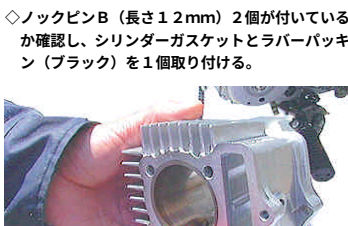
- ◇詰めていたウエスを取り外す。

2. シリンダーの取り付け

- ◇シリンダーベースガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。



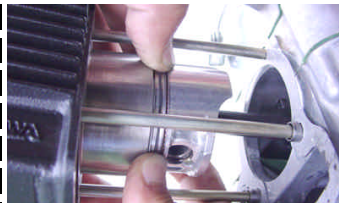
- ◇シリンダーベースガスケットとラバーパッキン(ブラック)を1個取り付ける。



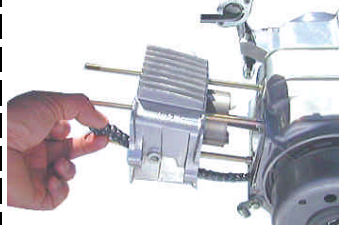
- ◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



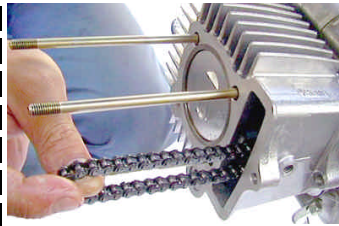
- ◇タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく。



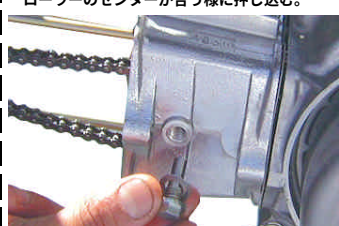
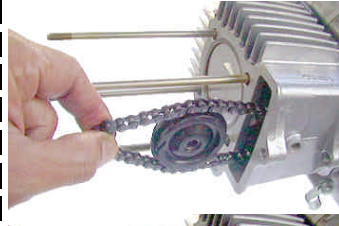
- ◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様にながら指で押し少しづつはめる。
- ※ここは難易度が高いのでがんばろう。



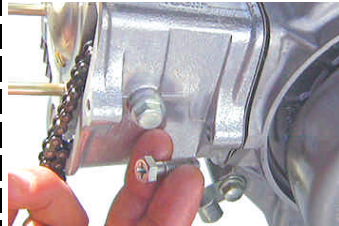
- ◇リングがシリンダーにはいったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。



- ◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーをつける。

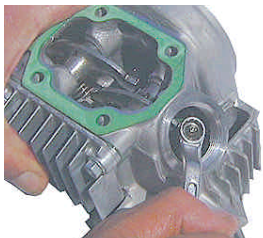


- ◇シーリングワッシャとガイドローラーボルトを取り付ける。(指で閉まる程度まで仮止め)



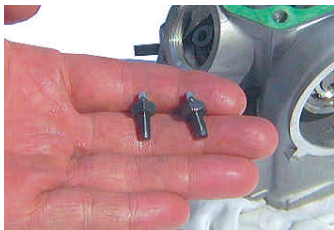
- ◇シリンダーサイドボルトを取り付ける。(指でしめる程度まで仮止め)

3. カムシャフト交換

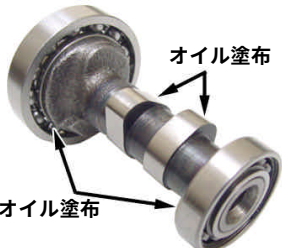


◇シリンダーヘッドに組まれているロッカーアームのタペットナットとボルトを取り外す。タペットナットを緩めた時点でタペツボルトをナットと一緒に取り外す。

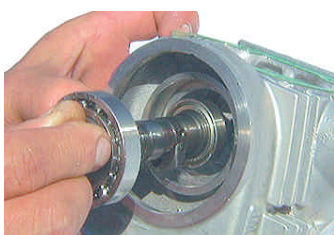
使用工具
9mmメガネレンチ



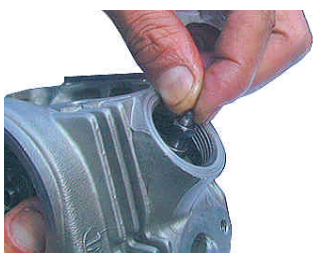
◇カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、引っ張るカプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたきと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



◇キット内のカムシャフトのカム部とベアリング部にきれいなエンジンオイルを塗る。



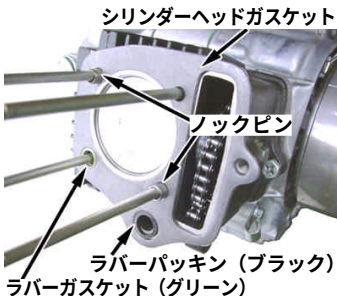
◇キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付ける。入りにくてもハンマー等でたたかず手を入れる。



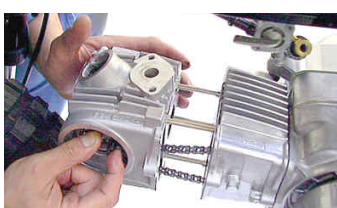
◇ロッカーアームのタペツボルトを取り付ける。

4. シリンダーヘッドの取り付け

◇シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシナー等で脱脂する。



◇シリンダーにノックピンA (長さ14mm) 2個、シリンダーヘッドガスケット、ラバーパッキン (ブラック)、ラバーガスケット (グリーン) を取り付ける。
※パッキンは外れやすいので要注意。

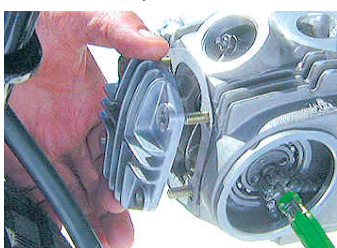
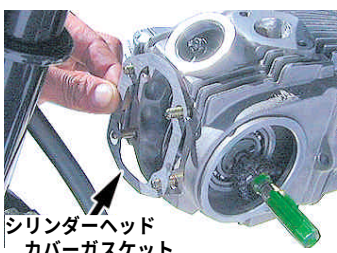


◇タイヤを手で押しながらシリンダーヘッドをスタットボルトに通す。

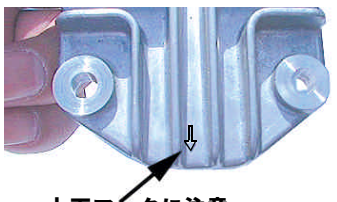
◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取り付ける。



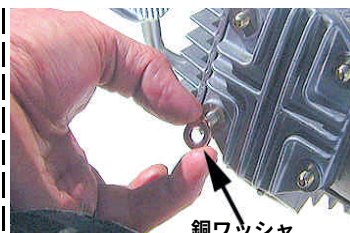
◇カムチェーンはシリンダーの方に落ちない様にカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。



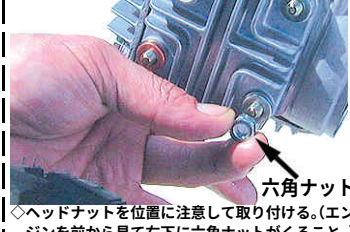
◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。



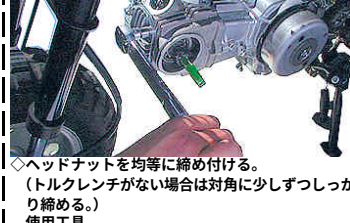
◇矢印は下の方向 (排気側) になること。



◇ヘッドカバーのワッシャを位置に注意して取り付ける。(エンジンを前から見て左下に銅ワッシャがくこと。)



◇ヘッドナットを位置に注意して取り付ける。(エンジンを前から見て右下に六角ナットがくこと。)



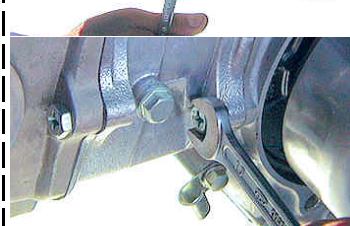
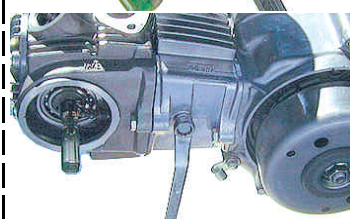
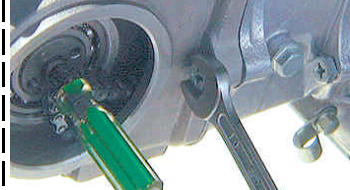
◇ヘッドナットを均等に締め付ける。(トルクレンチがない場合は対角に少しずつ締めめる。)

使用工具
1.0mmボックスレンチ
締め付けトルク 1.2 kg-m



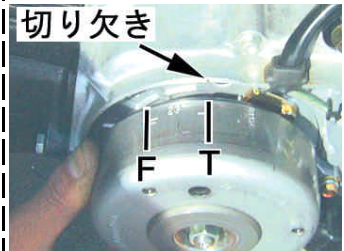
◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

使用工具
1.0mmスパナレンチ
1.0mmメガネレンチ



締め付けトルク
ガイドローラーボルト 1.0 kg-m
サイドボルト上下 1.0 kg-m

5. カムスプロケットの取り付け



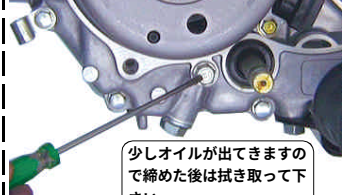
◇フライホイールのTマークをクランクケースの切りかき部に合わせる。



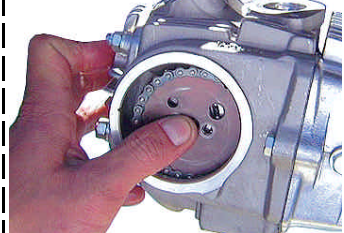
◇カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。
※オプションカム取り付けの場合、オプションカムの説明書の指示に従って下さい。



◇カムシャフトにノックピンを取り付ける。



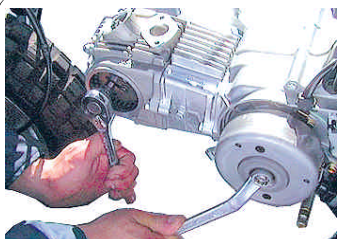
◇チェンジベダルのシャフトの横にある六角ボルトを取り外す。カムチェーンを引っ張っているテンションナーがゆるむのはめやすくなる。



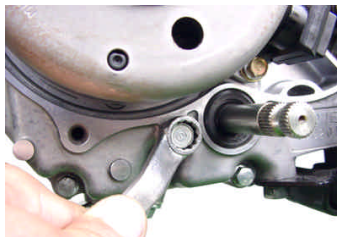
※ここは難易度が高いのでがんばろう。
◇カムスプロケットのOマークとシリンダーヘッドの切り欠き部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。



◇カムスプロケットをはめたあとはボルトを取り付ける。



◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを2本締め付ける。
使用工具
ソケット 8mm
1.4mmメガネレンチ
締め付けトルク 0.9 kg-m



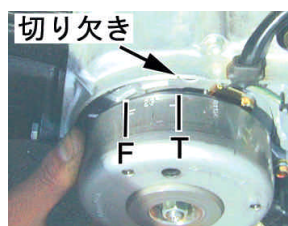
◇先程、取り外したチェンジペダルシャフト横の六角ボルトを取り付ける。
使用工具
10mmメガネレンチ
締め付けトルク 1.0 kg-m

6. タペットすき間の調整

ここは難易度が高いです。がんばって下さい。

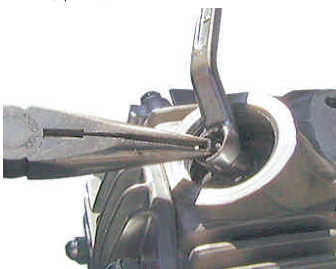
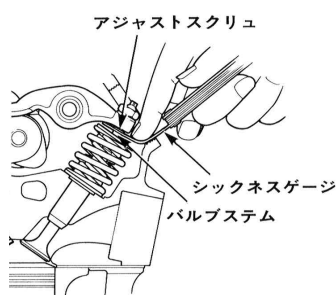
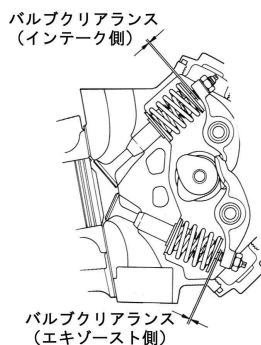


シリンダーヘッド側



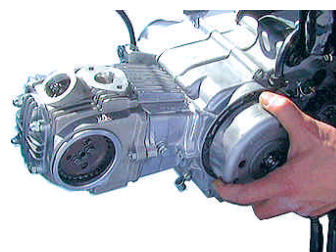
フライホイール側

◇カムシャフトのOマークとフライホイールのTマークがそれぞれの切り欠きに合う様にして止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムスプロケットを取り付けてTマークとOマークが同時に会えばOK。



◇ロッカーアームのタペットスクリューを締め込んでいきタペットスクリューとバルブシステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットナットを締め付ける (少し抵抗があるというのがわからない場合0.07と0.03のシクネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03がゆるゆるに入る様に合わせればだいたい0.05ミリということになる) IN、EX共に0.05ミリに合わせる。

使用工具
ラジオペンチ、9mmメガネレンチ
シクネスゲージ

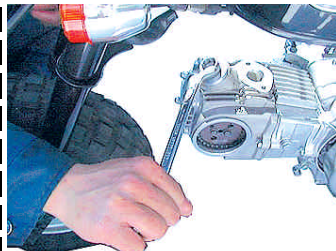
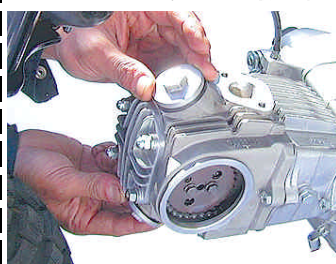


◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転手で回した後でTマークとOマークを合わせる。



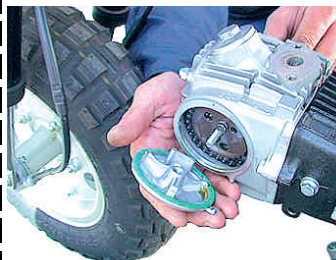
◇タペットすき間が変化していないか点検しすき間が合っていればOK、くるっている場合は調整する。

7. タペットキャップの取り付け



◇タペットキャップ2個を取り付ける。
使用工具
1.7mmメガネレンチ
締め付けトルク 1.2 kg-m

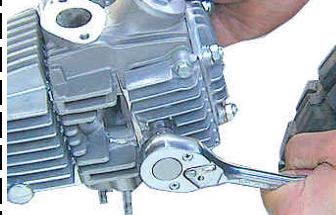
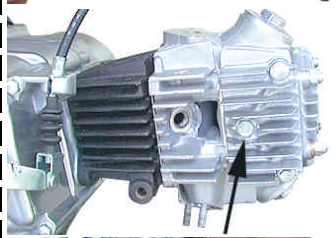
8. シリンダーヘッド左カバーの取り付け



◇シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。
(左サイドカバーがボルトを締めたときに右回りに回らないように回り止めを合わせる)



(回り止めを合わせる)



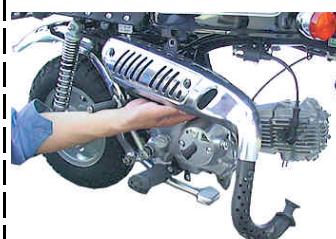
◇シーリングワッシャーとシリンダーヘッド右側の六角ボルト (矢印) を締める。
使用工具
ソケット 10mm
締め付けトルク 1.2 kg-m

9. スパークプラグの取り付け



◇車載工具がプラグレンチを使いプラグを取り付ける。
使用工具 プラグレンチ
締め付けトルク 1.1 kg-m
◇プラグキャップをプラグに取り付ける。

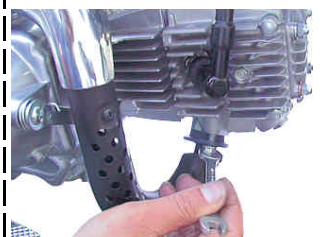
10. ノーマルマフラーの取り付け



◇マフラーは、先にテールパイプをリヤショックの内側を通しフランジ部分をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持っていく。



◇フランジのカラー2個をエキゾーストパイプを挟み込むようにして取り付ける。



◇EXパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)
使用工具
10mmスパナ
締め付けトルク 1.0 kg-m



◇マフラー本体裏側にナットを取り付ける。
(仮止め)
使用工具
ソケット 10mm&エクステンションバー中
締め付けトルク 1.0 kg-m

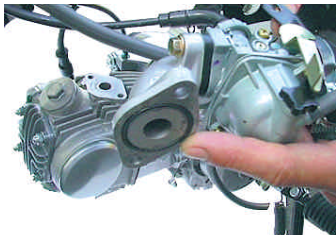


◇マフラー本体を止めている六角ボルトを取り付ける。(仮止め)

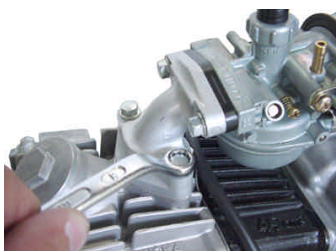
使用工具
ソケット12mm&エクステンションバー中
締め付けトルク 2.7 kg-m

◇仮止めの三カ所を締め付ける。

11. ノーマルキャブレターの取り付け

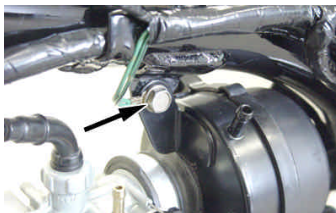


◇インレットパイプにOリングが付いていることを確認する。(フレームNO. Z50Jの車両)

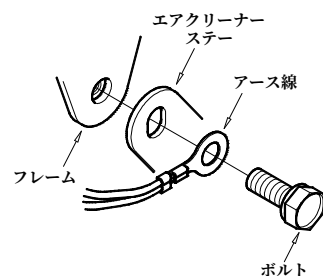


◇シリンダーヘッドとインテークマニホールドを止めているボルト2本を取り付ける。

使用工具
8mmメガネレンチ
締め付けトルク 1.0 kg-m



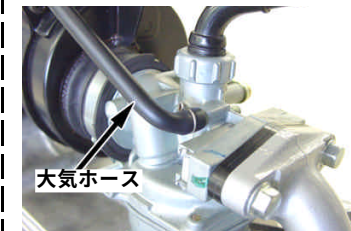
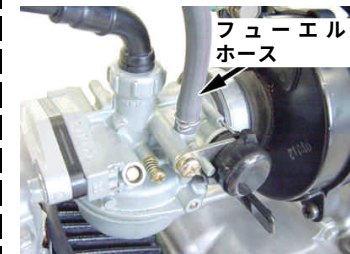
◇エアクリーナーステー部のボルトをアース線と共締めで取り付ける。(下図参照)



使用工具
ソケット10mm&エクステンションバー中
締め付けトルク 1.0 kg-m

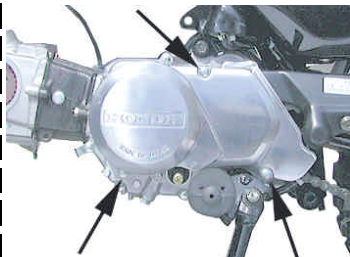


◇ストレージタンクのホース(フレームNO. AB27-の車両)を取り付ける。



◇フューエルホースと大気ホースを取り付ける。

12. クランクケース左カバーの取り付け



◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り付ける。

使用工具
ディープソケット8mm
締め付けトルク 1.0 kg-m



◇チェンジペダルを取り付ける。

使用工具
10mmメガネレンチ
締め付けトルク 1.0 kg-m

13. フロントフェンダーの取り付け

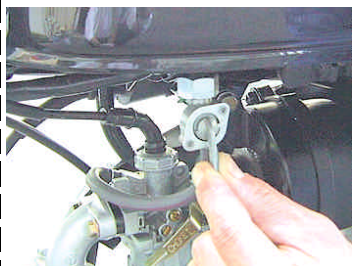


◇フロントフェンダー裏側の六角ボルト2本を締め付けて取り付ける。

使用工具
ソケット10mm&エクステンションバー小
締め付けトルク 1.0 kg-m

◇タイヤの空気を入れる

◇エンジンから足廻りまで取り付けしたボルト類に緩みがないかチェックする。



◇フューエルコックをONにする。

●走行前の注意

①お願い

◇一般公道を走行される場合は小型2輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。

※原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。

◇キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

②使用燃料について

◇燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

◇燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

③スプロケットの変更

◇このキットを取り付けると出力がアップし、ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎます。スプロケットのハイギヤー化を各自で行って下さい。

※各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

€-Stage KIT 推奨スプロケット 体重65kg時)

車種	リアホイールサイズ	クラッチ	トランスミッション	ドライブスプロケット	ドリブンスプロケット
モンキー/ゴリラ/BAJA	8インチ	ノーマル	4速	16	23
		強化、スペシャル		16	25
	10インチ	ノーマル		16	25
		強化、スペシャル		16	28
ダックス	10インチ	ノーマル	3速	16	31
ジョルカブ	10インチ	ノーマル	4速	16	33
マグナ50	12インチ	ノーマル	4速	16	33
JAZZ	12インチ	ノーマル	4速	16	33
リトルカブ	14インチ	ノーマル	3速	16	35
			4速	16	41 (ノーマル)
スーパーカブ50	17インチ	ノーマル	3速	16	35
			4速	16	42 (ノーマル)
CD50/CL50/ベンリー50S	17インチ	ノーマル	4速	16	42、43 (ノーマル)

④オイルポンプ

◇このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し、各部の冷却や負担を軽減するスーパーオイルポンプの装着をお薦めします。

⑤オイルクーラー

◇エンジンに長時間の負荷を与える走行はエンジン発熱量が更に増大します。油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお薦めします。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>